

令和元年 6月12日(水)

第2回和泉保育園交流 ～ 家庭クラブ ～

6月12日の放課後に、2回目の和泉保育園交流を行いました。今回は、1年から3年生の家庭クラブ委員と有志の25名で活動しました。

活動内容は、「防災ダック」という幼児向けの防災教育ゲームを使って、園児に、地震・火災・雷・蜂が来たとき・道路を横断するとき・誘拐されそうになったとき・知っている人に会ったとき・悪いことをしたときの8つ場合の対応方法を、動物を使ったポーズで覚えるというものです。

挨拶の後、「防災ダック」の説明とポーズの練習をしました。イラストを見ながら、何度かやってみると覚えてくれたようでした。年長児は昨年やったことも覚えてくれていました。

これらのポーズを、しっかり覚えてもらうために、魚釣りとお組み合わせしたゲームを考えました。まず、園児に自分の釣竿を作ってもらいます。ハサミや小さな磁石を扱うので、園児1人か2人に1人高校生が入り、一緒に作りました。2グループに分かれ、一方は、タコ糸を割りばしに挟み、セロテープでしっかり固定し、糸先に磁石を付けます。もう一方は、釣竿に好きな色を付けてもらいました。高校生からすると簡単な作業かもしれませんが、園児たちが一つ一つの作業にとっても楽しそうに取り組み、また、難しいところは高校生に頼ってくれる姿に触れ、保育園交流の意義を肌で感じたようでした。次に、その釣竿を使って、ゲームをしました。高校生が出したお題への対応方法（動物イラスト）を海の中から見つけ出して、救出するゲームです。子どもたちはルールを守って、器用に釣り上げてくれました。

参加者からは「動物のポーズを覚えてくれて、防災についても少しはわかってもらえた。」「子どもが大好きなのでとても楽しい時間でした。」「将来の子育てのイメージができて、積極的にコミュニケーションをとることができた。」などの感想をもらいました。「防災ダック」を活用して、遊びながら学ぶ交流活動ができたと思います。たくさんの家庭クラブ委員が参加し、保育園交流を経験することができました。このような異世代間交流は、緊張するかもしれませんが、何度もやってみることで自信がつき、また、2、3年生の姿を見て、1年生も接し方を学べる貴重な機会です。今後も楽しい企画を考えていきたいと思えます。興味がある方は次の保育園交流にぜひ参加してください。



ポーズの練習



釣竿作り



色を塗って自分だけの釣竿に



「ごめんなさい」のポーズを釣ろう



とても楽しかったね



はい、チーズ